

## 第6次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：医療法人さくら さくら記念病院
- 2 所在地（開設予定地）：富士見市水谷東1-28-1
- 3 整備計画（増床）病床数： 13 床  
（医療機能別内訳：回復期 地域包括ケア病床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成30年 2月
2	建築（着工）	平成30年 4月
3	建築（竣工）	平成31年10月
4	医療従事者の確保	平成31年 5月
5	使用許可（医療法）	平成31年10月
6	開設（増床）	平成31年11月

## 5 整備方針、目標

## ○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

地域包括ケア病床は、地域住民のサブアキュートやポストアキュートから在宅医療、そして介護サービスとの連携を行っていく一連の流れとしての役割と機能を有している。

また、訪問診療（在医総管・施設総管）を平成28年3月より、訪問看護ステーションを30年11月に立ち上げ、在宅医療・介護の資源を提供している。

そのための病床として、「時々入院、ほぼ在宅」の機能も十分果たしていると考えられる。

## ○新たに担う役割

第6次の保険医療計画で頂いた13床を円滑に運営するため、平成28年1月より地域包括ケア入院医療管理料1で13床を一般病床より転換。平成30年度の診療報酬改定でもいち早く4月より管理料1を算定。管理料1を算定しているため、在宅からの直入院（サブアキュート機能）も充実して稼働している。

第6次の保険医療計画で頂いた13床については、地域包括ケア病床の運営ノウハウは十分実践で蓄積しているため（稼働率は99.2%）、稼働直後から回復期の病床機能をフルに発揮できると考えられる。

## ○将来の方向性

平成31年2月（直近）の地域包括ケア入院医療管理料1（13床）の稼働率は99.2%。

また、一般病床（10：1）78床の稼働率98.2%で入院待機者が増えてしまっている為、7次の保健医療計画で更に病床を頂かないと回らない状況が続いている。

## ○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

上記の通り病院全体の月の稼働率は 98%を超えており、満床の日も多いため、救急入院もお断りする日が出てきている。

紹介で入院の待機者が常時 30 名以上出ている状態が続いている。

病床の機能分化・連携により 2020 年～2025 年の 5 年間で南西部医療圏の在宅医療等のサービス必要量が 3 倍に増える（埼玉県第 7 期介護保険事業(支援)計画の資料から読み取れる）。また、6 次の保険医療計画で頂いている 13 床では病棟として成り立たない事も考えられるのでさらなる増床は必須と考えられる。

**【増床病棟】**（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
4 階病棟	13 床	回復期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
<b>診療科</b>				
内科 外科 整形外科 泌尿器科 形成外科 循環器 消化器 リハビリテーション科 腎臓内科 人工透析内科				
<b>患者の受入見込み</b> （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
<b>【増床前】</b>			<b>【増床後】</b>	
			新規の地域包括病棟 13 床	
			埼玉医科大学病院から 年間 6 人 (3.4%)	
			イムス富士見総合病院から 年間 5 人 (2.8%)	
			新座志木中央総合病院から 年間 5 人 (2.8%)	
			三芳野病院から 年間 5 人 (2.8%)	
			イムス三芳総合病院から 年間 4 人 (2.3%)	
			TMGあさか医療センターから 年間 3 人 (1.7%)	
			さいたま赤十字病院から 年間 2 人 (1.1%)	
			埼玉メディカルセンターから 年間 2 人 (1.1%)	

国立埼玉病院から  
年間 2 人 (1.1%)

所沢中央病院から  
年間 2 人 (1.1%)

日本医科大学附属板橋病院から  
年間 2 人 (1.1%)

防衛医科大学校病院から  
年間 2 人 (1.1%)

朝霞厚生病院から  
年間 1 人 (0.6%)

埼玉医科大学総合医療センターから  
年間 1 人 (0.6%)

田崎病院から  
年間 1 人 (0.6%)

多摩北部医療センターから  
年間 1 人 (0.6%)

半蔵門病院から  
年間 1 人 (0.6%)

深川立川病院から  
年間 1 人 (0.6%)

南古谷病院から  
年間 1 人 (0.6%)

※小計 他病院から 26.6%

※自院から年間 79 人 (44.6%)

北朝霞駅前クリニック (自宅)  
から年間 12 人 (6.8%)

鶴瀬腎クリニック (自宅)  
から年間 5 人 (2.8%)

北浦和腎クリニック (自宅)  
から年間 3 人 (1.7%)

清瀬博濟堂クリニック (自宅)  
から年間 2 人 (1.1%)

川越駅前クリニック (自宅)  
から年間 1 人 (0.6%)

篠田中央クリニック (自宅)  
から年間 1 人 (0.6%)

他

※小計 診療所から 15.8%

特養「志木の里」

から年間 4 人 (2.3%)

特養「こぶしの里」

から年間 3 人 (1.7%)

特養「はるな苑」

から年間 1 人 (0.6%)

特養「ふじみ苑」

から年間 1 人 (0.6%)

特養「みどりの丘」

から年間 1 人 (0.6%)

老健「志木瑞穂の里」

から年間 1 人 (0.6%)

老健「鶴瀬台の里」

から年間 1 人 (0.6%)

老健「葵の園富士見」

から年間 1 人 (0.6%)

老健「富士見の里」

から年間 1 人 (0.6%)

老健「ナーシングホーム和光」

から年間 1 人 (0.6%)

有料老人ホームウェルガーデンみずほ台

から年間 2 人 (1.1%)

有料老人ホーム志木シルバーハイツ

から年間 1 人 (0.6%)

有料老人ホームみんなの家みずほ台

から年間 1 人 (0.6%)

グループホームミモザ新座

から年間 1 人 (0.6%)

サービス付き高齢者住宅サンライズ志木

から年間 1 人 (0.6%)

サービス付き高齢者住宅カサガイダ志木

から年間 1 人 (0.6%)

他

※小計 施設から 13.0%

訪問診療を行う患者数 年間 1,860 人

分娩取扱件数 年間 0 人

## 医療（介護）連携見込み

（※具体的に記入してください。）

### 【増床前】

### 【増床後】

現在一般病床も含めて連携室経由で連携している病院、診療所、施設は以下の通り増床後の連携は更に増える見込み有り

○紹介元：

埼玉医科大学病院

イムス富士見総合病院

新座志木中央総合病院

三芳野病院

イムス三芳総合病院

TMGあさか医療センター

さいたま赤十字病院

埼玉メディカルセンター

国立埼玉病院

所沢中央病院

日本医科大学附属板橋病院

防衛医科大学校病院

朝霞厚生病院

三芳野第2病院

埼玉医科大学総合医療センター

三愛病院

高島平中央総合病院

田崎病院

浅野病院

彩の国東大宮メディカルセンター

板橋中央総合病院

帯津三敬病院

城南中央病院

埼玉石心会病院

埼玉医科大学国際医療センター

自治医科大学附属さいたま医療センター

多摩北部医療センター

所沢ハートセンター

帝京大学医学部附属病院

上尾中央総合病院

半蔵門病院

蓮田よつば病院

深川立川病院  
齋藤記念病院  
三井病院  
南古谷病院  
みずほ台病院  
堀ノ内病院  
順天堂大学医学部附属練馬病院  
済生会川口総合病院  
赤心堂病院  
TMG 宗岡中央病院  
所沢第一病院  
所沢明生病院  
池袋病院  
三浦病院  
和光病院  
入間川病院  
三好の森病院  
塩味病院  
大生病院  
関越病院  
北野病院  
慈誠会記念病院  
原田病医院  
並木病院  
清風荘病院  
武蔵野総合病院

他

北朝霞駅前クリニック  
鶴瀬腎クリニック  
北浦和腎クリニック  
清瀬博濟堂クリニック  
川越駅前クリニック  
篠田中央クリニック  
所沢腎クリニック  
富士見クリニック  
新河岸腎クリニック  
宮村医院  
川越救急クリニック

けやきクリニック  
富岡医院  
オアシス愛生クリニック  
坂本整形外科  
新都心ホームケアクリニック  
飯田橋春口クリニック  
はまだ内科クリニック  
志木柏町クリニック  
やすぎクリニック  
他

特養「志木の里」  
特養「こぶしの里」  
特養「はるな苑」  
特養「ふじみ苑」  
特養「みどりの丘」  
特養「ルストホフ志木」  
特養「あやめの里」  
特養「ひだまりの庭むさしの」  
特養「桜荘」  
特養「こころ三芳」  
特養「ブロン」  
特養「志木瑞穂の森」  
特養「菜々の郷」  
特養「ここしあ」  
特養「やすらーじゅ瑞穂」  
他

老健「志木瑞穂の里」  
老健「鶴瀬台の里」  
老健「葵の園富士見」  
老健「富士見の里」  
老健「ナーシングホーム和光」  
老健「ケアライフ朝霞」  
老健「イムスケアふじみの」  
老健「春陽苑」  
老健「雪見野ケアセンター」  
老健「めぐみ」  
老健「ナーシングホーム和光」  
他

有料老人ホームウェルガーデンみずほ台  
有料老人ホーム志木シルバーハイツ  
有料老人ホームみんなの家みずほ台  
有料老人ホームル・レーヴふじみ野

グループホームミモザ新座  
サービス付き高齢者住宅サンライズ志木  
サービス付き高齢者住宅カサウイザ志木  
他

○紹介先：

上尾中央総合病院  
埼玉医科大学病院  
さいたま赤十字病院  
埼玉セントラル病院  
TMGあさか医療センター  
新座志木中央総合病院  
富家病院  
菅野病院  
三愛病院  
北所沢病院  
所沢ロイヤル病院  
新所沢清和病院  
埼玉病院  
南部病院  
埼玉厚生病院  
所沢緑ヶ丘病院  
平沢記念病院  
他

北朝霞駅前クリニック  
鶴瀬腎クリニック  
北浦和腎クリニック  
清瀬博濟堂クリニック  
川越駅前クリニック  
篠田中央クリニック  
他

特養「志木の里」  
 特養「こぶしの里」  
 特養「はるな苑」  
 特養「ふじみ苑」  
 特養「みどりの丘」  
 特養「ルストホフ志木」  
 特養「あやめの里」  
 特養「ひだまりの庭むさしの」  
 特養「桜荘」  
 特養「こころ三芳」  
 特養「ブロン」  
 特養「志木瑞穂の森」  
 特養「菜々の郷」  
 特養「ここしあ」  
 特養「やすらーじゅ瑞穂」  
 他  
 老健「志木瑞穂の里」  
 老健「鶴瀬台の里」  
 老健「葵の園富士見」  
 老健「富士見の里」  
 老健「ナーシングホーム和光」  
 老健「ケアライフ朝霞」  
 老健「イムスケアふじみの」  
 老健「春陽苑」  
 老健「雪見野ケアセンター」  
 老健「めぐみ」  
 老健「ナーシングホーム和光」  
 他  
 有料老人ホームウェルガーデンみずほ台  
 有料老人ホーム志木シルバーハイツ  
 有料老人ホームみんなの家みずほ台  
 有料老人ホームアズハイム東浦和  
 有料老人ホームウェルハウス神根  
 有料老人ホームすこや家志木柏町  
 グループホームミモザ新座  
 サービス付き高齢者住宅サンライズ志木  
 サービス付き高齢者住宅カサガイダ志木  
 サービス付き高齢者住宅アミカの郷  
 短期入所施設 そよ風  
 他

6 既存病棟の概要 (※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。)

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2階病棟	42床	急性期	20日	98.2%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料5	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3階病棟	36床	急性期	20日	98.2%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料5	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
4階病床	13床	回復期	28日	99.2%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア入院医療管理料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
一般/療養	入院基本料・特定入院料			
<b>診療科</b>				
内科 外科 整形外科 泌尿器科 形成外科 循環器 消化器 リハビリテーション科 腎臓内科 人工透析内科				
<b>診療実績</b>				
○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）				
手術の実施状況：平成31年1月は42件、うち、経皮的シャント拡張術・血栓除去術（PTA）26件、内シャント設置術5件が主な手術。				
救急車受入件数は平成31年1月15件、年間120件程度。				
がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況については、400床以上7：1の急性期病院など（大学病院など）からの紹介受入で回復期までの治療を行っている。				
全身管理の状況は、呼吸心拍監視・酸素吸入・中心静脈注射・ドレーン管理・人工呼吸・人工腎臓・腹膜灌流などを実施している。				
○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）				
在宅復帰については、地域包括ケア病床の在宅復帰率は、平成30年9月～平成31年2月の6ヶ月間で81.1%。				
全身管理については、酸素吸入・呼吸心拍監視・経管栄養カテーテル・人工腎臓・腹膜灌流・中心静脈注射などを実施している。				
疾患別リハビリテーションの実施状況は以下に明示。（平成31年1月実施分）				
・運動器リハ：208単位				
・脳血管リハ：798単位（廃用含む）				
・呼吸器リハ：98単位				
・地域包括ケア病床：一人平均 2.3単位（合計761単位）				

## 7 医療（介護）連携における課題、問題点

### ○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

自院の地域包括ケア病床への転棟～在宅への流れは主軸として稼働中。その他連携室が主体となり療養病院との連携、老健との連携、特養やグループホーム、サ高住、有料老人ホーム等介護保険施設との連携を図り、10：1の施設基準遵守のため平均在院日数21日以下を保っている。

平成31年2月は平均在院日数20日（3ヶ月平均）

### ○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

市町村、ケアマネージャーとの連携については、介護支援等連携指導料、退院時共同指導料を積極的算定することで連携している。また、訪問看護ステーションも稼働しているので外のケアマネージャーとの交流も盛んで在宅療養へ繋げている。

地域包括ケア病床へ転棟させたい待機患者については、絶えず数名いる状態が続いている。ポストアキュート機能を発揮するため絶えず1床は空けておきたいのだが、すぐ埋まってい、増床必須の状況である。そのため、回転率はよく稼働率100%を超える日も多い。

在宅への移行は、在宅復帰率を80%以上を保っているため移行はスムーズに行われている。特に在宅扱いとなる、特養やグループホーム、サ高住、有料老人ホームとの連携は強化している。

また、機能強化加算（初診）も算定しており、訪問診療、訪問看護と合わせて在宅医療・介護に力を注いでいる現状である。